



本書は、『困ってるひと』『身体がいいなり』を超える闘病エッセイです。(担当編集者より)

毛のない生活

山口ミルコ(著)元・幻冬舎 編集者)

ISBN978-4-903908-33-5 C0095 46判並製/176頁/価格1,500円+税

装丁:鈴木成一デザイン室

「ガンが見つかったのは、退社した矢先のことだった——」

【内容紹介】敏腕編集者、会社大好き、そんな著者が思いもよらぬ退社。その一カ月後、ガンを宣告され、突然闘病生活が始まる。「まさか自分が坊主になるうとは。起きてマクラが髪の毛だらけで真っ黒だったあの朝のことは、生涯忘れないだろう」何も「ない」日々のなかで見えてきた「これから」の生き方。頑張りつづける全ての現代人に捧げる渾身のエッセイ。

【本文を一部紹介（「0 無職になって」より引用）】

「自分の人生に「会社を辞める」という事態が訪れるとは思っていなかった。会社が好きだった。仕事が好きだった。それなのに辞めた。なぜ辞めたか。私は絶望した。あのときの絶望がなんだったのか。辞めてだいぶたったいまも、よくわからない。(略) 編集者ってすばらしいな——そう思ったら、涙があふれてきた。その編集者という仕事を、あの日は自分から手放したのだった。」

清冽な文体が切なくともすがすがしい、魂の「自分再生」記。

推薦

人生最大の苦難を、明日への道しるべに変えた女性。それがミルコさんだ。(小川洋子)
これを読んで、「山口ミルコ」という生き方を応援しないでいられる人はいないと思う。(谷村志穂)

目次 0 無職になって / 第1章 会社を辞める / 第2章 ガンかもしれない / 第3章 毛のない生活 / 第4章 毛のある生活 / 第5章 まだ何も始まっていない / エピローグ 老木をめざして

【著者プロフィール】1965年東京都生まれ。角川書店雑誌編集部をへて当時の上司(幻冬舎社長 見城徹氏)の独立を機に94年、幻冬舎へ。五木寛之、さくらももこ、江國香織、辻仁成、藤堂志津子など、作家の小説やエッセイをはじめ、幅広いジャンルの書籍を担当。プロデューサー、編集者として両社で約20年勤務し、現在はフリーランス。趣味は楽器演奏。現在、ウェブ雑誌「平日開店ミシマガジン」誌上にエッセイ「ミルコの六本木日記」を連載中。

ご注文欄

2月新刊 『毛のない生活』 山口ミルコ(著)	ご注文数	冊
好評既刊 『未来への周遊券』 最相葉月・瀬名秀明(著) ISBN978-4-903908-17-5 C0095 価格1,500円+税	ご注文数	冊
好評4刷 『ほしいものはなんですか?』 益田ミリ(著) ISBN978-4-903908-15-1 C0014 価格1,600円+税	ご注文数	冊

* ミシマ社の本の仕入方法について (基本パターン) *

- 直接取引(返品可) * 詳細は別途、「取引覚書」をご用意しています。
 - ①掛率 : 70%
 - ②納品 : 宅配便で直送(5冊以上。送料はミシマ社負担)。
 - ③返品 : 随時入帳可能(送料は書店様負担)。
 - ④精算 : 新刊などは3ヵ月後、補充などは当月請求。
返品は受領月の請求金額から控除、控除しきれなかった場合は、
次回の請求より相殺を原則とする。
 - ⑤支払 : 月末締めてご請求、翌月末までのお支払い。手数料ミシマ社負担。
 - 取次ルート(返品不可)
- 注文品のみ出荷、返品はできません。太洋社様経由で各取次へ搬入します。

直

【直取引メインです】

貴店名:

ご住所:

TEL:

FAX:

ご担当者:

様

通信欄